



伊賀市 議会だより

No. 19
平成21年11月1日



☆議員定数減により、議場の議席を変更しました。

ひとが輝く地域が輝く

～住みよさが実感できる自立と共生のまち～



主な掲載内容

平成20年度決算報告	P 2
予算特別委員会報告	P 3
ここが聞きたい 一般質問	P 4～P 7
常任委員会で審査しました	P 8
議会報告会の様子	P 9
審議した結果を公表します	P10～P11
議会のうごき等	P12

平成20年度の決算を認定しました

決算審査は、予算が議会の議決や法令の規定に従って公正・適正、効果的に使われたかどうか、市民の福祉増進に役立ったかどうかを審査するものです。審査の結果をこれからの予算に活かすため、毎年9月定例会会期中に、決算特別委員会を設置し、詳細な審査を行っています。

昨年までの決算特別委員会の委員は、会派より選出された議員15名でしたが、今年は議長、監査委員を除く議員全員で9月11日と14日の2日間にわたり審査を行い、事務事業の見直しや経費の節減・合理化を図り財政運営の健全化と市民福祉のさらなる向上に一層の努力を要望し認定しました。

平成20年度決算状況

(千円未満切捨て)

	会 計 名	収 入 額	支 出 額
	一 般 会 計	428億8,526万2千円	417億8,785万8千円
特 別	国民健康保険事業	98億6,805万4千円	93億1,929万8千円
	事業勘定	97億1,592万9千円	91億6,103万6千円
	直営診療施設勘定診療所費	1億5,212万5千円	1億5,826万2千円
	簡易水道事業	9億2,959万8千円	8億8,207万7千円
	住宅新築資金等貸付	9,321万円	1億9,584万6千円
	駐車場事業	5,486万9千円	5,477万2千円
	老人保健	9億5,429万4千円	9億5,364万5千円
	介護保険事業	74億3,093万6千円	71億4,590万5千円
	農業集落排水事業	20億1,414万1千円	19億7,175万7千円
	公共下水道事業	16億1,458万7千円	15億2,338万7千円
	浄化槽事業	4,004万1千円	3,792万6千円
	サービスエリア	2,664万4千円	962万7千円
	市街地再開発事業	8億4,713万1千円	8億4,713万1千円
後期高齢者医療	8億8,398万6千円	8億7,706万8千円	
企 業	病院事業(収益的)	30億1,386万9千円	34億2,137万円
	(資本的)	1億8,426万円	1億9,726万8千円
	水道事業(収益的)	20億6,302万円	19億5,976万1千円
	(資本的)	28億0,972万8千円	36億4,673万6千円
	島ヶ原財産区	3,497万7千円	3,368万円
	大山田財産区	861万4千円	653万円5千円

委員会では多くの質問がありました。一部を抜粋します。

歳 出 総務費

- ・だんじり、鬼行列運営助成金について。
- ・三重県地方税管理回収機構負担金内訳と委託内容について。
- ・自治大学の職員研修においての人選方法と、研修後はどのように成果を活かしているのか。 など

企画費

- ・ランドデザイン委託について。
- ・伊賀市振興基金積立金の目標積立金額と使途予定は。
- ・文化施設維持管理委託料の内容と効果は。
- ・自治会連合会活動費補助金内容について。 など

民生費

- ・子育て支援対策事業の今後の方向性は。
- ・保育所・園の入所希望者は希望どおり入所できたのか。 など

衛生費

- ・応急診療所小児科の医師について。
- ・感染症予防経費について。
- ・ごみ減量化及び施設維持管理経費について。 など

農林業費

- ・農業公園管理費の指定管理について。

商工費

- ・土地建物貸付事業の内容や観光振興経費の委託施設について。 など

土木費

- ・三重県南北縦貫道路建設促進同盟会の進捗状況は。
- ・ダム対策経費、調査研究費の内容について。
- ・都市マスタープラン策定スケジュールについて。 など

教育費

- ・小、中学校草刈業務委託について。
- ・標準学力検査(CRT)について。
- ・奨学金制度について。
- ・青少年見守り活動について。 など

歳 入

- ・不納欠損額、収入未済額の内容について。
- ・ふるさと納税の累計、使い道について。 など



予算特別委員会

◎9月15日開催された、予算特別委員会での様子をお知らせします。

本特別委員会では、平成21年度一般会計補正予算、2特別会計補正予算並びに病院事業会計補正予算について審査を行いました。

今回の補正は、一般会計、特別会計及び企業会計を合わせ、29億5,686万5千円を増額し、補正後の全会計の予算総額は740億2,740万2千円になります。

一般会計については、補正予算第3号が提案されており、既定の予算額に歳入歳出それぞれ16億9,396万9千円を追加し、補正後の予算額を歳入歳出それぞれ419億9,476万4千円とするもので、国の経済危機対策に係る補正予算により、「地域活性化・経済危機対策臨時交付金」や「地域活性化・公共投資交付金」を充当した事業並びに「子育て応援特別手当交付金事業」や「美しい森林づくり基礎整備交付金事業」など、国の補正予算に関連し、国、県の補助の追加、変更のありました事業費を中心に補正を行っています。



●審査の過程において出された、主な要望や意見について一部紹介します。

- ・伊賀鉄道車両観光仕様補助金の忍者列車外部ラッピング(塗装)に関わって、観光の目玉となるアイデアを以って取り組まれたい。
- ・行政バスに関わっては、既存の定期バスとのルートの兼ね合いがあり、市民からは不便さを感じるとの声があるので、利用者の声を取り入れ改善を行われたい。
- ・経済対策、子育て政策を含め賛成すべき点は多く認められるが、サンピア用地を文化会館駐車場として取得することに対し、費用対効果の面から反対。
- ・市民が署名等含めサンピアを守る意思が認められるので、行政が支援する観点から賛成。



などの要望や意見が出されましたが、市当局においては、審査を通じて出された指摘事項や要望など十分留意の上、適正な予算執行をするよう要望しました。

伊賀市・名張市議会地域医療問題研究会

伊賀地域の救急医療体制については、全国的な医師不足の影響を受け、地域内において、単独による365日24時間体制での救急対応を行える病院がないため、平成20年4月より、名張市立病院、上野総合市民病院、岡波総合病院の3病院の輪番体制による救急対応を行っていますが、現在は深刻な医師不足により、3病院において、救急搬送受入れ困難な状況も発生しています。

そこで、伊賀市と名張市の両市議会が、伊賀地域、伊賀圏域の医療問題について共通の認識に立って、両市議会としての方向性を見出すための研究会が発足しました。

去る8月26日に第1回目の会議が開催され、役員等が決定しました。

役員の内任期は1年、定数は両市それぞれ10名です。

第2回目の会議は10月15日に開催されました。

第3回目は、12月1日開催の予定です。



中盛 汀 議員



- ・ 市民活動の広がりに向けて
- ・ 企画の充実について

質問

協働のしくみづくりについて

「協働」という言葉は、伊賀市の総合計画に500近く使われ、伊賀市自治基本条例にも定義されています。また今議会初日の市長の所信表明でも「協働のまちづくり」の推進に努めるとおっしゃられました。が、まだまだつかみづらいものでもあります。

この「協働」の推進には、市全体での推進体制と同時進行で、行政の仕事の見直しも必要ですが、今後の予定は。

答 弁

機構も、必要なら検討します

部長級で構成する政策調整会議で、市の機構についても、必要と判断すれば取り組んでいきたいと考えております。



百上 真奈 議員



- ・ 一人暮らし高齢者等の支援について
- ・ 発達障害のある子どもの支援について
- ・ ヒブワクチン接種の公費助成について

質問

一人暮らし高齢者の生活支援施策の実施を

一人暮らし高齢者に生活支援、特に日常生活の困りごと解消や買い物支援、夜間の見守り等具体的な施策の実施を。

答 弁

国の「安心生活創造事業」の指定を受け、支援の具体化をはかります

一人暮らしの高齢者世帯は4,739世帯（本年5月末）で年々増加しています。この度、一人暮らし世帯の生活支援の基盤となる「見守り」「買い物支援」を中心にした国の事業である「安心生活創造事業」の指定を受け、高齢者世帯の多いモデル地区を選定して、住民自治協議会と連携して支援の具体化に向けて取り組んでまいります。

第8回伊賀市議会定例会では、一般質問が9月7日から3日間行われ、14人の議員が市の諸問題について質問をしました。質問した項目と質問の一部を紹介します。

市政の ここが 聞きたい!



一般質問を行った議員

- ・ 中盛 汀 ・ 渡久山カナエ ・ 百上 真奈
- ・ 前田 孝也 ・ 森永 勝二 ・ 松村 頼清
- ・ 稲森 稔尚 ・ 中井 洸一 ・ 馬場登代光
- ・ 中谷 一彦 ・ 森岡 昭二 ・ 西澤 民郎
- ・ 生中 正嗣 ・ 岩田 佐俊

渡久山 カナエ 議員



- ・ 定住自立圏構想への取り組み
- ・ 市営住宅

質問

市営住宅の現状と課題

入居者がおられ、老朽化が進み、建て替えを余儀なくされているにもかかわらず「用途廃止」される団地や、同様に「建て替え」となっている老朽化の団地はいつ建て替えられますか。また緊急時対応の住宅整備、そして民間参入住宅（地域優良賃貸住宅）の課題について今後どのように取り組まれるのでしょうか。

答 弁

「住生活基本計画」を策定

伊賀市の地域特性や住宅事情を反映した住宅施策の総合的な推進に向けて「住生活基本計画」を早急に策定し、魅力的な住まいづくりや安全で安心できるまちづくりを進めてまいります。

森永 勝二 議員



- ・介護保険料減免制度の実施を
- ・救急医療に関して
- ・予野地域への牛糞の持込について
- ・同和事業・同和教育はすみやかに終結を
- ・国民健康保険について

質問

介護保険料の減免制度の実施を

所得の少ない高齢者には、介護保険料・利用料を免除して、お金の心配をせずに介護が受けられる仕組みを緊急につくるべきです。現在保険料を独自に減免している自治体は551あります。伊賀市も実施すべきだと思いますがどうですか。

答弁

保険料の減免を実施します

要綱を定め9月1日から実施します。災害については免除するとともに、当該年度中の納付義務者及び世帯員の総所得金額が前年度の総所得と比べ3割以上減少した場合に、減少率に応じて7、5、3割の減免を行うことになります。

稲森 稔尚 議員



- ・介護・高齢者福祉について
- ・自殺防止対策について
- ・アライグマ対策について

質問

特別養護老人ホームの待機者解消を

特別養護老人ホームの待機者が、全国で40万人とも言われています。介護度の重い人が切り捨てられることのないように、待機者問題の解消を図るべきです。伊賀市の実態と解消策を示してください。

答弁

県に伊賀市の実情を伝えていきます

伊賀市の特別養護老人ホームの待機者は676人（5月現在）となっています。平成22年度には80人の施設整備を計画しています。しかし介護人材確保の問題や、民間事業者の募集などの課題があります。さらに、県の施設整備が中勢・伊賀をひとつの圏域として計画していることから、県に対しても伊賀市の実情を伝えてまいります。

前田 孝也 議員



- ・新型インフルエンザ対策について
- ・バイオマスの研究

質問

新型インフルエンザに対する地域医療対策は

地域医療の中核である市民病院の3輪番制の存続を含むあり方が崩れてきているが、県の施策としては三重県新型インフルエンザ発熱外来設置等の対策がなされています。伊賀市としてどのような地域医療対策を考えていますか。

答弁

インフルエンザ対策は県の対策に添って取り組みを進めます

3輪番制になった経緯は伊賀地域の救急搬送が年々伸び、救急医療の緩和をしようとしたものですが、医師不足、看護師不足で21年度からは特に3輪番制維持が厳しい状況になっているため、インフルエンザの蔓延に対する対策は県の対策に添って取り組みを進めます。



松村 頼清 議員



- ・高齢者公共交通利用支援について
- ・自治体版CSR導入へ
- ・市長所信表明について

質問

高齢者、公共交通利用支援

伊賀市において70歳以上の方への移動手段の支援として、電車、バスなどを利用する時にいくらかの助成が出来ないかを検討していただきたいと思います。また、市単事業としての可能性は。

答弁

特性を活かせるなら取り組むべきだと思います

高齢者の方の移動手段については既存のサービスと併せ、今後、高齢者支援や公共交通体系も含め関係部署との検討が必要であります。

また、市単事業の中でも地域の特色を表わす、地域特性を活かすような事業は、当然取り組むべき事業であり、今後の事業の中では対象として有りうる話であります。

馬場 登代光 議員



- ・防災について
- ・鳥獣害対策について

質問

どんな取り組みをなされておりますか

サル、イノシシ、鹿、最近はアライグマまで被害が増えています。それぞれの対策をお答えください。

答弁

ハード事業で防護柵等の設置に取り組んでいます

獣害対策については国の特別措置法が制定され、今までソフト面に取り組んで来ましたが、本年度はハード事業として市鳥獣対策協議会を立ち上げ9自治協が防護柵等の設置に取り組まれるようになりました。

アライグマについては捕獲器が現在の38台では不足しておりますので、新たな購入等について検討します。



森岡 昭二 議員



- ・行財政改革について
- ・医療体制の整備について
- ・福祉施設の整備について
- ・同和問題に関する職員意識調査について

質問

介護施設入所待機者676人に

本年度の介護保険施設および居住系サービスの整備計画について、どこまで進められているのかお伺いします。

答弁

計画通り実行します

本年度の計画は、阿山地内に介護老人保健施設90床建設、大山田地内と上野地内に介護付有料老人ホーム70床をそれぞれ建設予定、認知症高齢者グループホームをいしがまち地内と大山田地内にそれぞれ9床建設予定で、いずれの施設も来年3月末完成を見込んでいます。



中井 洸一 議員



- ・伊賀市の消防行政について
- ・伊賀市の教育について

質問

消防団の適正化により団員地区住民の声を

消防団の適正化計画案の策定は全市全域すべて同時ではなく、地区の状況を考慮して段階的にやっていくべきと思いますが。

答弁

必要とされる地区から順次実施します

地区の消防団員や住民の意見、要望を十分に考慮し、今後の適正化計画案を見直します。また要望があり、必要とされる地区から(※)支援団員の制度を導入していきます。

※支援団員とは各分団内に在住し消防団員として経験が一定以上ある者で、分団内における災害時の活動のみに出動し式典訓練には参加しない団員をいう。

中谷 一彦 議員



- ・公営企業の会計処理
- ・市の財産と監査のあり方
- ・草刈と空き家問題

質問

草刈と空き家問題について代執行を含めた条例化を

市民からの要望が多い草刈と空き家問題について、住民のみならず周辺緑地を含めた環境保全及び安全安心の暮らしを守るために、代執行を含めた名張市に習う条例化を考えていただけますか。

答弁

条例化に向けて検討します

空き地の草刈りについての地区要望は20年度754件、21年度8月現在で861件あり、現地調査後、郵便により勧告はしています。宛先不明で約1割は戻って来ています。

今後、代執行の規定を設けることについて、課題の整理等、様々な観点から検討してまいります。

生中 正嗣 議員



・スポーツの振興について

質問

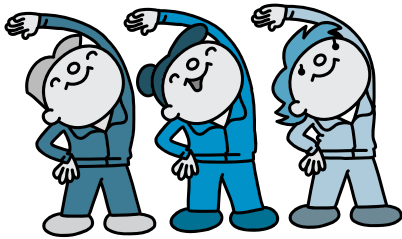
スポーツ振興について

スポーツの振興施策を文化振興と同様に、教育委員会から市長部局へ移管をすることについてのお考えをお尋ねします。

答弁

意見を参考に機構・組織の見直しを図ります

スポーツを通じての「健康づくり」「まちづくり」は市としての重要な課題であり、柱に据えて取り組まなければなりません。組織改革についてのご提案ですが、現在、機構・組織の見直しを進めており、意見を参考にさせていただきながら、スリムな行政組織の構築に向け進めます。



西澤 民郎 議員



・防災について

質問

防災について

今年発生した一連の自然災害の教訓と、様々な災害への心構えは

答弁

過去の例を教訓として、しっかり取り組みます

市民の生活の安全・安心を守るために、防災訓練などを積み重ね、あらゆる災害に、市の職員がきっちりと対応すると共に、市民お一人おひとりに日頃から防災意識を持っていただく啓発に努め、自らを守る自助、地域などが行う共助、市などが行う公助のきっちりとした対応を、過去の例を教訓として、しっかり取り組んでいきます。



年賀状の自粛について

議員の年賀状は
公職選挙法で禁止されております。

皆様のご理解を
お願いいたします。

伊賀市議会



岩田 佐俊 議員



- ・救急車の適正利用について
- ・文化財の保護について
- ・道路整備について
- ・交通計画の見直しについて

質問

救急車の適正利用を

救急医療業務の崩壊が懸念されています。不適正な救急車利用者約6割の方を無くすことが、この業務を救う最良の策だと思われませんが。

答弁

条例化も検討します

救急車適正利用については、「救急車はタクシーではない」「本当に必要なのは誰ですか」と題したポスター作成や市広報、ケーブルテレビ等でも市民の皆様様に切実な気持ちを訴えているところです。今後の対策として、虚偽の通報をした場合は、消防法で罰則規定のある法律もありますが、他市の動きを見て、地域医療を守る条例等の制定も検討したいと思います。

各常任委員会では、第8回定例会において付託された議案5件、請願5件について審査を行いました。主なものは、次のとおりです。

★ 常任委員会



産に限り、現行の支給額である「35万円」を「39万円」に引き上げるものです。

このことにより、本条例第5条第1項ただし書が適用される、産科医療保障制度に加入している分娩機関での出産については、一分娩につき、3万円が加算され、支給額は上限42万円になるものです。

なお、この条例は、平成21年10月1日から施行するとのことです。

審査にあたり委員からは、特に質疑等もなく、本案は全会一致で原案どおり可決すべきものと決しました。

請願

採択されたもの

請願第2号 義務教育費国庫負担制度の存続と、負担率2分の1への復元を求めることについて (教育民生常任委員会)

請願第3号 30人学級を柱とした義務教育諸学校及び高等学校次期定数改善計画の予算拡充を求めることについて策定、教育予算拡充を求めることについて (教育民生常任委員会)

請願第4号 保護者負担の軽減と就学支援に関わる制度の拡充を求めることについて (教育民生常任委員会)

請願第6号 建設工事入札に関することについて (総務常任委員会)

継続審査となったもの

請願第5号 スポーツ施設の充実を求めることについて (教育民生常任委員会)

理由：請願の趣旨は理解するが、財政的なこと、また所有者である三重県の動向等を見極める必要がある。



総務常任委員会

付託 議案3件
請願1件

議案第114号

「30m級はしご付消防自動車の買入れについて」

本案は、中消防署に配備の消防ポンプ自動車が27年を経過し、老朽化が著しく、消防活動に支障をきたす恐れがあることから、今回更新配備しようとするものです。

車両の特徴として、先端が屈折することにより、電線や樹木などの障害物を避けて上から建物に接近でき、高層ビル等への救助活動が可能であり、また水平より下方にもはしごを伸ばせるため、水難事故等にも対応可能となるとのことです。

▽委員から入札参加者に無効がでているが理由は何かとの質疑がありました。

▼当局から入札年月日の日付の誤りがあり、伊賀市会計規則により意思表示の不明確ということで無効になると説明がありました。

▽また、旧車両はどうするのかという質疑がありました。

▼当局からは、廃棄処分で業者に引き取ってもらうとの答弁でした。

審査の結果、本会は全会一致で原案どおり可決すべきものと決しました。

教育民生常任委員会

付託 議案2件
請願4件

議案第110号

「伊賀市国民健康保険条例の一部改正について」

緊急の少子化対策として、健康保険法施行令等の一部を改正する政令が公布、施行されたことに伴い、本条例を改正するものです。

改正の内容については、現在国民健康保険被保険者が出産した時、出産育児一時金を支給していますが、平成21年10月1日から平成23年3月31日までの出

議会報告会の様子をお知らせします

市民と議員が自由に情報及び意見交換ができるよう、議会基本条例に基づき「議会報告会」を開催させていただきました。

この議会報告会は、住民自治協議会単位で開催し、年1回行うものです。21年度は37地区で7月、10月、1月の3回に分けて開催します。



7月に話し合われた内容は、主に議会の活動状況、予算等の審議状況、その他市政の諸課題などで、市民の皆さまから活発なご意見をいただきました。

これらご意見等を議会でもとめて検討し、議会報告会班長会議で調整をした後、市長宛に文書で報告をしました。



市長に報告した主な内容

- 市の債務についての償還完了の時期は。
- 獣害対策について。
追えば他の地域へ移動する。農作物を守るため、積極的に駆除という策が必要では。
- 地区市民センターの窓口業務等の強化について。
- サンピアの市道及び土地を市が1億も出して買うべきでない。
- H i b (細菌性髄膜炎) ワクチンを伊賀市として公費助成するよう求められたい。
- R D Fによるごみ処理について県は廃止を打ち出しているが、処理をどうしていくか、議会としての方向性について。
- 自治協と自治会のあり方について。
- 道、路肩、線路面の斜面の草刈は危険なので、行政で行われたい。
- 支所機能・権能の改革について。
- ランドデザインについての市長の真意をよりわかりやすく知りたい。
- 住まなくなった住居の倒壊の危険や、木の枝、草等が増えて通学道路も危険。条例化を望む。

以上、議会報告会実施要綱第10条第3項により、7月の報告を市長宛に提出しました。

10月、1月の報告の結果につきましては、議会でもとめた後、伊賀市ホームページに掲載いたします。

議案等の審議結果をお知らせします。

臨時会

7月21日の第6回臨時会での提出案件は、市長提出議案3件、8月11日開催の第7回臨時会での提出案件は、市長提出議案2件でした。

■市長提出議案

議案番号	案 件	審議結果	審 議 の 詳 細
議案第84号	平成21年度三重県伊賀市一般会計補正予算(第2号)	全会一致 可決	
議案第85号	平成21年度三重県伊賀市病院事業会計補正予算(第1号)	全会一致 可決	
議案第86号	工事請負契約締結について	全会一致 可決	
議案第87号	工事請負契約の変更について	賛成多数 可決	賛成しなかった議員:本城、中谷 反対理由:積算根拠を示すべき。業者の言いなりはいけない。(本城)
議案第88号	伊賀市長及び副市長の給与及び旅費に関する条例の一部改正について	全会一致 可決	

定例会

9月定例会での提出案件は、市長提出議案28件、議員提出議案4件、請願5件でした。

■市長提出議案

議案第89号	平成20年度三重県伊賀市一般会計歳入歳出決算の認定について	賛成多数 認定	賛成しなかった議員:森永、百上 反対理由:川上ダムなど無駄な事業がある。同和事業を終結して他に充当すべき。(森永)
議案第90号	平成20年度三重県伊賀市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	賛成多数 認定	賛成しなかった議員:森永、百上 反対理由:一般会計から充当して国保料を下げるべき(森永)
議案第91号	平成20年度三重県伊賀市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	全会一致 認定	
議案第92号	平成20年度三重県伊賀市住宅新築資金等貸付特別会計歳入歳出決算の認定について	全会一致 認定	
議案第93号	平成20年度三重県伊賀市駐車場事業特別会計歳入歳出決算の認定について	全会一致 認定	
議案第94号	平成20年度三重県伊賀市老人保健特別会計歳入歳出決算の認定について	全会一致 認定	
議案第95号	平成20年度三重県伊賀市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	賛成多数 認定	賛成しなかった議員:森永、百上 反対理由:制度の改悪でますますサービスが悪くなっている。(森永)
議案第96号	平成20年度三重県伊賀市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	全会一致 認定	
議案第97号	平成20年度三重県伊賀市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	全会一致 認定	
議案第98号	平成20年度三重県伊賀市浄化槽事業特別会計歳入歳出決算の認定について	全会一致 認定	
議案第99号	平成20年度三重県伊賀市サービスエリア特別会計歳入歳出決算の認定について	全会一致 認定	
議案第100号	平成20年度三重県伊賀市市街地再開発事業特別会計歳入歳出決算の認定について	全会一致 認定	
議案第101号	平成20年度三重県伊賀市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	全会一致 認定	

伊賀市議会だより 2009.11.1

議案第102号	平成20年度三重県伊賀市島ヶ原財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	全会一致 認定	
議案第103号	平成20年度三重県伊賀市大山田財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	全会一致 認定	
議案第104号	平成20年度三重県伊賀市病院事業会計決算の認定について	全会一致 認定	
議案第105号	平成20年度三重県伊賀市水道事業会計決算の認定について	全会一致 認定	
議案第106号	平成21年度三重県伊賀市一般会計補正予算(第3号)	賛成多数 可決	賛成しなかった議員:森永、森岡、渡久山、百上、中谷、近森、稲森 反対理由:一定の評価はするが、サンピア奥の駐車場購入の予算化については問題がある。市民の暮らしに充当すべき(森永、近森)
議案第107号	平成21年度三重県伊賀市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	全会一致 可決	
議案第108号	平成21年度三重県伊賀市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	全会一致 可決	
議案第109号	平成21年度三重県伊賀市病院事業会計補正予算(第2号)	全会一致 可決	
議案第110号	伊賀市国民健康保険条例の一部改正について	全会一致 可決	
議案第111号	伊賀市市民活動支援センター設置条例の一部改正について	全会一致 可決	
議案第112号	字の区域の変更について	全会一致 可決	
議案第113号	伊賀市消防団員等公務災害補償条例の一部改正について	全会一致 可決	
議案第114号	30m級はしご付消防自動車の買入れについて	全会一致 可決	
議案第115号	人権擁護委員候補者の推薦について	全会一致 同意	
議案第116号	人権擁護委員候補者の推薦について	全会一致 同意	

■議員提出議案

発議第4号	義務教育費国庫負担制度の存続と負担率2分の1への復元を求める意見書(案)の提出について	全会一致 可決	
発議第5号	30人学級を柱にした義務教育諸学校および高等学校次期定数改善計画の策定、教育予算拡充を求める意見書(案)の提出について	全会一致 可決	
発議第6号	保護者負担の軽減と就学支援に関わる制度の拡充を求める意見書(案)の提出について	全会一致 可決	
発議第7号	地方自治の継続を守るための予算執行を求める意見書(案)の提出について	賛成多数 可決	賛成しなかった議員:森永、桃井、百上、中盛、稲森 反対理由:現在、各省庁が予算の見直し作業に入っているため、今、意見書を出すのは早すぎる。(森永)

■請願

請願第2号	義務教育費国庫負担制度の存続と、負担率2分の1への復元を求めることについて	全会一致 採択	
請願第3号	30人学級を柱にした義務教育諸学校及び高等学校次期定数改善計画の策定、教育予算拡充を求めることについて	全会一致 採択	
請願第4号	保護者負担の軽減と就学支援に関わる制度の拡充を求めることについて	全会一致 採択	
請願第5号	スポーツ施設の充実を求めることについて	継続審査 採択	
請願第6号	建設工事入札に関することについて	全会一致 採択	

議会のうとぎ

7月

- 21日 議会運営委員会
議会運営委員懇談会
臨時議会
議員全員懇談会
広報委員会
- 27日 建設水道常任委員懇談会
- 28日 伊賀市・名張市広域事務組合議会

8月

- 3日 政策討論会幹事会
- 4日 議会運営委員会
議会運営委員懇談会
会派代表者会議
- 11日 臨時議会
- 18日 議会報告会班長会議
- 25日 議会運営委員会
- 26日 伊賀市・名張市議会地域医療問題研究会

9月

- 2日 議会運営委員会
- 7日～9日 一般質問
- 9日 議会運営委員会
議会運営委員懇談会
会派代表者会議
- 11日 決算特別委員会
- 14日 決算特別委員会
- 15日 予算特別委員会
議員全員懇談会
- 16日 総務常任委員会
教育民生常任委員会
産業経済常任委員懇談会
- 17日 建設水道常任委員懇談会
- 25日 議会運営委員会
会派代表者会議
本会議（閉会）
広報委員会
- 29日 議員全員懇談会
議会報告会班長会議

10月

- 7日 議員全員懇談会
- 9日 議会運営委員会
広報委員会
- 15日 第1回議会議員政治倫理審査会
伊賀市・名張市議会地域医療問題研究会
- 16日 広報委員会

次の定例会は



12月2日(水)の開会予定です

12月22日(火)まで21日間の日程(予定)で開催します。

12月 2日(水)	本会議 (開 会)
8日(火)	本会議 (一般質問)
9日(水)	本会議 (一般質問)
10日(木)	本会議 (一般質問)
11日(金)	本会議 (一般質問)
14日(月)	予算特別委員会
15日(火)	予算特別委員会
16日(水)	常任委員会
17日(木)	常任委員会
22日(火)	本会議 (閉 会)

※本会議は市役所2階市議会議場で開催されます。
※時間は、いずれも午前10時から開催の予定です。
※変更される場合もありますので、ご確認ください。

開かれた議会議をめぐって

議会議を傍聴してみませんか



議会議の議議は、どなたでも傍聴することができます。市民の皆さんが選んだ議員の活動や市政の動きを知るためにも、ぜひ傍聴にお越しください。

12月定例会は午前10時からケーブルテレビでも生中継します。(再放送は午後7時から)

議会議だよりに関するご意見をお寄せ下さい

TEL 0595 (22) 9687
FAX 0595 (24) 7901
E-MAIL gikai@city.iga.lg.jp

編集後記

9月議会議が終わり、28人の議員が担当し、各地域で議会議報告会をさせていただきました。広い伊賀市の中で、それぞれの地域の個性を感じながら、さまざまな声を聞かせていただくことは、新しい発見が多く、とても勉強になります。

来年1月にも議会議報告会を開催する地域があります。どなたでもご参加いただけますので、多くの皆さまの声を伺えればと思います。また、市議会議本会議等も気軽に傍聴することができますので「生」の議会議を、ぜひご覧いただければ幸いです。(稲森)

